

	牧師 山本護	司式 青柳均	奏楽 花曲琴音
前 奏	黙想		祈 禱
讃美歌	23 くるあさごとに		讃美歌 522 みちにゆきくれし
祈 禱			献 金
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書	イザヤ書 30:15 使徒言行録 1:6~11		黙 禱 主の祈り 564
讃美歌	285 主よ、み手もて		頌 栄 539 あめつちこぞりて
説 教	『天ではなく、この地で』		祝 禱 後 奏

復活されたイエスは「四十日にわたって彼らに現われ、神の国について話された(使徒 1:3)」。現われて語るだけに留まらず、一緒に食事までした(1:4)。復活が、霊体や幽体のような幻ではなく「生きている数多くの証拠(1:3)」として示されている。復活したイエスは食欲も旺盛なのだ(ルカ 24:41~42)。

イエスは、聖霊が降臨することを告げ(使徒 1:8)、天に上げられる(1:9)。「イエスが離れ去って行かれるとき、彼らは天を見つめていた(1:10)」。驚愕することもなく、「ああ、行っちゃった…」と果然と見上げていた。一緒に食事をし、語ってくれていたのに「心細くて寂しいなあ」という心持ちか。

ポカンと口開け、天を見ている弟子たちに、白い服の二人の天使は言った。「ガリラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか~イエスは天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる(1:11)」。天使の口ぶりは、天にこだわっているのはダメだよ、といった調子。罪にまみれた地を見限って、清らかな天に目を向けてはいけないのか。私たちは何をみつめればいいのか。

この「なぜ~」という天使の口調、聞き憶えがある。復活の時イエスの墓で、輝く衣(白い服)を着た二人の天使(ルカ 24:4)が女たちに語った言葉。「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか(24:5)」。ルカ福音書と使徒言行録は同じ著者であり、天使の「なぜ」は、こだわっている視点の転換を求めているようだ。すなわち、古い自分に浸ってしまうことへの否。了解できる範囲、馴染んだ感覚、慣習や経験に傾いていく人間の視点に、天使は「なぜ」を突きつけ、神の御手が働く方へ転換させる。

見つめるべき方向は、天ではなく地だ(使徒 1:11)。聖なる天ではなく、罪や争いがあっても、かけがえのない地をしっかりと見ているよ、と。そんな地に神の子はお生まれになり、「あなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる(1:11)」地なのだから。聖なる天は召されてから見渡せばよい。罪あっても美しいこの地で、争い止まなくても愛おしいこの地で、聖霊に吹かれて未知へと進む。

キリストが「またおいでになる」終りの日を、待ち遠しいような(7割の期待感)、恐ろしいような(3割の拒絶感)、言いようのない微妙な心持ちで待つ。それはいつですか、と誰もが問いたい(1:6)。するとキリストは「父が御自分の権威をもってお定めになった時や時期は、あなたがたの知るところではない(1:7)」ときっぱり答える。仮にそれが少しでも分ったりすると、人間の自力であれこれジタバタしてしまうだろう。皆目分らないので、ただ神に信頼するより他ないではないか。なんという安心か。

「まことに、イスラエルの聖なる方、わが主なる神は、こう言われた。[お前たちは、立ち帰って、静かにしているならば救われる。安らかに信頼していることにこそ力がある]と(イザヤ 30:15)」。ところが「お前たちはそれを望まなかった(30:15)」。静かにしていること、安らかに信頼していること、分らないまま待つことは容易ではない。だが私たちは、キリストがまたおいでになる(使徒 1:11)という御告げを、「安らかに信頼して」この地で待ちたい。とりあえず、聖霊が降臨されるまでは(ルカ 24:49, 使徒 1:4~5)。今、地ではすべきことが幾らでもあり、待ちながら暇を持て余すことはあるまい。

エルサレムから天に昇ったが、聖霊が降って来るのは全世界の(2:11)、私たち一人ひとりに(2:3)。

子供時分とろり淀んだ川で鮒を釣った 長ずると清冽な源流へ分け入り自作毛バリで岩魚を釣った
俺は鮒か 清冽な天国では生きられない キリストはどこにおられるか そうだここが天国なのだ

次主日 5/21 の礼拝では長崎哲夫牧師が説教して下さいます。5/20(土)1:30~3:30 八ヶ岳メソヂカル・カフェの開催。今年の聖霊降臨祭は5/28。牧師の動き:5/15 山梨県宗教者懇話会、5/19 ダルク支援会。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。